

O-11 抜歯即時埋入および抜歯後早期埋入したインプラントに対してISQとペリオテストを使用して荷重時期決定の客観的方法

Objective evaluation method for determining implant loading time using a combination of ISQ and Periotest values for immediate placement and early placement.

○山口貞博, 渡辺泰典, 辻野哲弘, 岡 吉孝, 田 昌守, 奥寺俊允, 奥寺 元

○S. YAMAGUCHI, T. WATANABE, T. TSUJINO, Y. OKA, M. DEN, T. OKUDERA, H. OKUDERA

東京形成歯科研究会

Tokyo Plastic Dental Society

I 目的: 現代のインプラント治療では治療期間の短縮のために、抜歯後インプラントを埋入する時期を早める様々なエビデンスが存在する。一方で、荷重時期については初期固定による目安はあるものの、他には明確な指標は存在していない。このたび、抜歯後即時および抜歯後早期にインプラント埋入を行う際の埋入トルク値 (IMPLANT MOTOR IS-III, GC, Tokyo, Japan) で十分な初期固定は得られなかったインプラント埋入に対して、荷重時期を決定するためにはISQ値 (Osseo 100+, NSK, tochigi, Japan) とPTV値 (PERIOTEST, MEDEZINTECHNIK GULDEN, Bensheim, Germany) の測定が有用であることを報告する。

II 材料および方法: 2023年に同一術者が行った抜歯後即時埋入インプラント4本 (上顎2本, 下顎2本) と早期埋入インプラント体5本 (上顎2本, 下顎3本) のスプライン ツイストMP-1 (biomet3i, USA) 直径3.75を対象とし、1次手術時, 2次手術時にISQ値を測定した。2次手術の時期は上顎で3か月後, 下顎で2か月後としたが、その経過時に測定して得られたISQ値の

変化と、2次手術時に測定されたPTV値について観察した。

III 結果: 1次手術時の埋入トルクやISQ値では抜歯即時埋入と早期埋入では差が認められなかった。2次手術時のISQ値の経時的変化では抜歯即時埋入と早期埋入では差が認められたが、PTV値では差が認められなかった。ISQ値及びPTV値にインプラント体の長さによる差は認めなかった。

IV 考察及び結論: 同種、同一径のインプラント体の1次手術および2次手術時のISQ値とその変化を観察した結果、1次手術時の埋入トルクと差が認められなかった。2次手術時のISQ値の経時的変化は、早期埋入が抜歯即時埋入より優位に高い値を示した。ISQ値の変化やPTV値に差は認められなかった。PTV値では荷重可能な数値であるが、2次手術後にISQ値が減少していないかを計測する必要があると考えられる。抜歯即時埋入は早期埋入と比較しても上顎3か月, 下顎2か月で十分な固定が取れており、荷重可能であることが分かった。今後さらに対象を広げて検証を深めていきたい。

倫理審査委員会 17000114承認 承認番号23102号